

② 市指定ごみ袋をレジ袋として使用する取組について

1. 本市の現状

平成20年度から市内大型スーパー7店舗と消費者協会及び市の三者で「レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」を締結し、レジ袋の削減とマイバックの持参率の向上を図る取組を協働により推進している。

なお、マイバッグ持参率は直近5年間の平均で約85%となっており、レジ袋を購入する方の割合は約15%となっている。

2. アンケートの実施・結果

本市において更なるレジ袋の削減を図るため、協力いただける店舗の意見を伺うこととし、市内7店舗に対してアンケート調査を実施した。

アンケート調査の結果は、すべての店舗で「協力は可能」との回答であった。

3. 今後について

- ・本取組の効果等を検証するための実証実験を行うこととし、実施に向けて各店舗と具体的な協議を行う。

- ・実証実験（案）

期 間：令和8年10月1日～令和9年9月30日

協力店：アンケート調査を実施した7店舗

方 法：次のことについて、各店舗と協議・検討する。

- ①レジ付近にごみ袋売り場の設置、ポスターやポップアップの掲示。
- ②実証実験の開始に合わせ、広報誌、SNS等により情報発信、職員による街頭啓発の実施。（ポケットティッシュ配布など）
- ③レジ係から「レジ袋の代わりに市指定ごみ袋を使ってみませんか？」等の声掛けの実施。
- ④無人レジでも対応可能とするための方策。 など